

階であると考えられます。そこで、県内の公営住宅を活用し、要介護3以上の高齢者世帯を優先的に受け入れ、24時間体制で見守りサービスを提供する事業を展開し、介護離職防止策を講じるとともに、いわゆるミッシングワーカーを積極採用し、当該事業で就労する環境整備を行います。

・鹿児島商工会議所青年部の事業を通して支援を行っている子ども食堂など、民間レベルでの活動が増加傾向にありますが、自治体による旗振りをベースとした当該活動を推進し、シングル家庭などの生活水準が決して高いとは言えない世代への支援を積極的に展開する機関に対する支援を行います。食事を提供するだけでなく、鹿児島ならではの郷中教育のようにボランティアの大学生等が子どもの勉強をサポートすることで学力の格差解消を狙います。



今年度の例会事業として実施したキッズチャレンジフェスタ

・旧公営住宅を建て直し、またはフルリノベーションし、子どもの人数に応じて家賃が安くなる新築または新築同程度の公営住宅を提供します。子どもが一定の年齢になった際に家賃を相場並みに引き上げることで子育て終了時の転出を促し、新たな子育て世代への優良な居住環境を提供します。

・子供医療費助成制度における窓口での一時払い完全ゼロの早期実現を達成します。県外及び市外の子ども医療費負担ゼロ地域から転入するデメリットを解消することで流入を促進します。

・ICTを活用して生産性の低い作業をシステムに置き換えるための助成金を設定または強化します。中小企業において本業以外に時間を取られることによるビジネスチャンスの喪失、いわゆる機会損失を減らし、少ない人員を生産性の高い事業活動へ投資できる機会を創出します。